

医療現場における

暴力被害者への急性期介入と支援の重要性

暴力の慢性的影響と世代連鎖を断ち切るためには、医療現場とくに母子に関わる部門の協力が不可欠です。ドメスティック・バイオレンスや児童虐待は、性暴力と深く結びついています。隠れた問題である性暴力被害への医療・司法・行政にまたがる急性期の総合支援（ワンストップ）システムの充実が急務です。

プロフィール紹介

こ に し た か こ
講師 小西 聖子 氏



武蔵野大学臨床心理センター長：教授、臨床心理士・精神科医

愛知県出身、東京大学教育心理学科、筑波大学医学専門学群、同医学研究科卒。医師、博士(医学)。東京医科歯科大学難治疾患研究所被害行動学客員助教授を経て現職。1993年より、被害者支援、トラウマ・ケアを専門として、実践研究を行っている。

編著：犯罪被害者のメンタルヘルス(誠信書房 2008)、
単著：新版トラウマの心理学 ～心の傷と向き合う方法 (NHK出版 2012)

共監訳：PTSDの持続エクスポージャー療法ワークブック：トラウマ体験からあなたの人生を取り戻すため(星和書店 2012)

ご案内

日時：平成26年3月2日(日) 13:00~16:00

会場：名古屋第二赤十字病院 1階 研修ホール

対象：健康医療福祉の専門職及び行政・司法の分野で暴力被害者に対応される方

定員：300名 / 参加費 一般 3000円

問合せ先

〒460-0008 名古屋市中区栄 4-2-10 小浅ビル 3階 A-2号

女性と子どものライフケア研究所

Tel: 052-684-5369 E-mail: lifecare@ca.em-net.ne.jp

長江美代子 日本福祉大学福祉社会開発研究所 客員研究所員

主宰：女性と子どものライフケア研究所

後援：日本福祉大学福祉社会開発研究所、公益社団法人愛知県看護協会、公益社団法人愛知県助産師会、一般社団法人愛知県病院協会、公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人名古屋医師会、名古屋市男女平等参画推進室

— 申 込 書 —

FAX ご利用の時にお使いください

平成 年 月 日

フリガナ	
氏名	(名古屋第二日赤職員: は い い い え)
住所	〒 - ※マンションアパートの場合は「棟・号」までお書き下さい
連絡先	TEL - - (FAX) - - メールアドレス
職種	医療・福祉・行政・その他()

上記の情報とともに、郵送・FAX・E-mailでお申し込み下さい。

※受付は定員になり次第終了します。

◎参加費振込先(受付確認後): 三井住友銀行 名古屋栄 支店 普通 1882716

◎郵送先: 〒460-0008

名古屋市中区栄 4-2-10 小浅ビル 3階 A-2号
女性と子どものライフケア研究所

◎FAX 番号: 052-684-5359

◎E-mail アドレス: lifecare@ca.em-net.ne.jp

<会場アクセス> 名城線「八事日赤」駅下車

市バス金山 12号系統、栄 18号系統「八事日赤病院」下車

